

読者ニュース

2013年10月20日(日)1008号

発行 日本共産党清水町支部
連絡先 森野善広 伏見 442-3 電 976-2747
吉川清里 徳倉 440-6 電 931-1662
Eメール morino618@thn.ne.jp

高齢者医療費無料の村

長野県原村

政務調査で、他の会派議員6人と長野県へ行きました。

原村は、人口8000人。諏訪湖の近くにあり、標高1000m、冬は零下20度近くにもなるという村です。

村では、65歳以上の高齢者の医療費を無料にしていることで有名です。そのために村が支出している予算は、毎年約1億円。村長の説明では、すでに村民には医療費無料は当たり前のことと受けとめられていて、「ぜひ続けて欲しい」と言われているそうです。もし無料化をやめても1億円を財政調整基金(村の貯金)に積み立てるだけだ、と言っていました。医療費無料の効果として、国保の1人あたりの医療費が27万円と、医療費が低い長野県77市町村の中でも61位とさらに低い事。後期高齢者の医療費も県内で55位という事でした。

村内15の地区から2~3人の役員を出して、「原村保健衛生自治推進協議会」をつくり、「衛生」「保健指導」「食生活」「母子」の4部会に分けて学習や啓発などを行っています。また、この自治協議会も含めた、「原村包括医療推進協議会」が行政・医師会・区長会・社協・老人会などで構成され、健診の推進など、地域での健康づくり体制が機能していました。

保健・福祉・地域医療の一元化

長野県川上村

川上村は、人口4100人・千曲川の上流部に位置し、レタスの出荷量全国1位。若い世代も農業に従事している高原野菜生産の村です。

村では、国保診療所の隣にヘルシーパークという施設を作り、保健福祉課・社協が中に入り、村民交流室やデイサービス、ホームヘルパー、入浴サービス、などを行っています。包括支援センターとケアマネ・保健師・診療所・訪問看護・デイサービスなどの関係者が、毎日利用者の情報交換と検討をする地域ケア会議をして、保健・福祉・医療の一元管理を実現させていました。

川上村は、近くに大きな病院がなく、農繁期の加重労働や冬の厳しさから住民の健康を守るのは、村がやるしかない、と自己完結型の施設と体制を作り上げたとの話でした。

この連携システムの実証実験として、最近では、スマホを活用して、ヘルパーが訪問時に本人や家の様子を写真で記録したり、訪問診療時に血圧などを記録し、遠方に住む家族もパソコンで情報を共有できるようにする、より進んだ体制づくりをめざしていました。

原村と川上村は、清水町とは地理的条件などは違いますが「住民の健康は村が守る」という強い意志のもとで、予算をかけて施策を実行している点は見習うべきだと思います。

健康まつりのお楽しみ券、販売しています。(1枚200円)

豪華商品があたるかも(?)抽選券つき。1枚につき会場内で100円のお買い物にも使えます。購入希望の方は、森野、吉川まで。